らいふあっぷ習志野

らいふあっぷ通信

習志野市生活相談支援センター　らいふあっぷ習志野
習志野市津田沼５－１２-１２サンロード津田沼ビル６Ｆ
０４７－４５３－２０９０

2016 Feb VoL 3

10月　合同研修

ワーカーズコープちばの事業所「らいふあっぷ習志野」「生活自立・仕事相談センター稲毛」「サポートセンター・オアシス」が合同で研修を行いました。



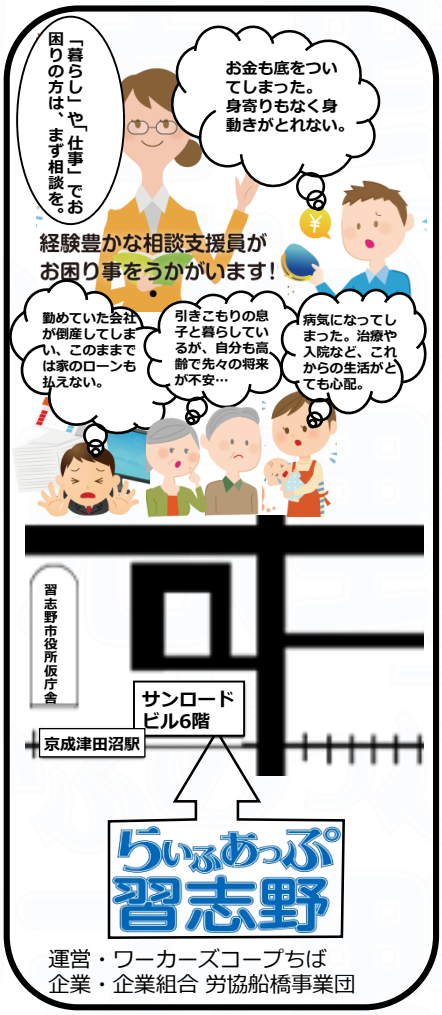
聴き入る各相談員



講演中の渋沢　茂氏

講師は、中核地域生活支援センター　長生ひなたの渋沢　茂さん。

福祉に関わってきた経歴紹介から始まり、相談支援における考え方・視点、そして新しく始まった生活困窮者自立支援制度についてお話をいただきました。



11月　オアシス農場　収穫祭



年1回行っているワーカーズコープちばオアシス農園の収穫祭＆ワーカーズコープちば法人交流会に参加してまいりました。



当日は、天気に恵まれ、暑くもなく寒くもなく、大変素晴らしい時間をみんなと過ごす事が出来ました。
オアシス農園の魅力を多くの人と共有できたと思います。

（上段）左から、開催の挨拶・みんなで楽しく芋ほり体験・掘りたてのお芋で焼き芋・採れた立ての落花生を塩茹でに！
（下段）左から）掘りたてのお芋で焼き芋・お待ちかねのBBQ
（右側）参加者全員で記念撮影！

12月　3市合同学習支援事業学習支援フォーラムinうらやす



【12／5(土)～すべての子どもが夢希望持って成長社会の実現目指して～学習支援フォーラムinうらやす@浦安市文化会館】が開催され、関連団体、自治体職員等70名が参加しました。

認定NPO法人抱樸理事長／生活困窮者自立支援ネットワーク代表理事の奥田知志氏の基調講演では、ホームレス支援や困窮者自立支援の活動報告をいただき、「子ども・家族まるごとプロジェクト“marugoto”」の学習支援の取り組みでは「わからない」「苦手」が言える支援活動と「地域社会」「更生保護」「就労支援」等の一体的な支援の取り組みや実践の必要性の訴えがありました。

平成28年1月22日生活困窮者自立支援制度における「家計相談支援」の威力を知ろう！に参加（藤田・橋本）

生活共同組合連合会グリーンコープ連合主催の研修に参加させていただき、家計診断とは、家計の現状を見える化することで、相談者が課題に気づき、「家計を管理しよう」という意欲を生み出し、自立していけるように支援していくことだということを改めて認識いたしました。



平成28年1月26・27日就労訓練事業開拓者養成講座

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば主催の講座に参加させていただき、先駆的な取り組みを行っているいくつかの自治体の事例から、地域資源を活用し、積極的に開拓していくことの必要性を感じました。

学習支援事業「フリー★スタディ (Free Study)習志野(ならしの)」

12月末日～H28年1月初旬　学習支援事業　冬季講習

冬休みに入りクリスマスやお正月などが続き、ついつい生活習慣が乱れがち。
だからこそ、しっかりと計画を立てることが大切です。
冬休みのうちに単元を見直すことで、自信と余裕をもって試験に望めるように限られた時間を、有意義に過ごせるように一人ひとりの生徒と向き合い、それぞれに合わせた冬期講習をおこないました。

平成28年1月16日　梅の木学習教室交換研修

研修の目的

・東京理科大学の学生が自発的に事業を起こし運営している流山市にある“梅の木学習教室”へ行ってきました。
　梅の木の運営を体験することで自主運営・自主管理の意義を学ぶことを研修しました。

研修についてのレポート



1. 研修の概要

生徒が来るまでの事前準備‥‥学習内容の確認、プリント作成過去問の演習
英単語小テスト‥‥‥‥‥‥‥‥‥事前配布し覚えてきたもの
過去問の解説‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥要点について講師が講義形式で実施
振り返りと意見交換

2. 研修成果

・獲得目標：教室の学習形態及び学習内容の修正・改善点
　　講師間における情報の共有についての方策
・研修結果：下部表

	フリースタディならしの	梅の木学習教室
学習形態	・個別学習形式（定期的に過去問演習・解説等で集団講義形式をとることがある） ・生徒個別担当制 ・週二日全学年の生徒が対象	・受験生：集団講義形式 その他：個別学習形式 ・教科別担当制 ・学年曜日別
学習内容	・生徒の希望する学習内容を基本に、成績や苦手科目、学年、保護者の意見などを総合的に鑑み、画集計画を立て、それに従い学習を進める ・学習教材は基本的には生徒が持参し、教室で所持している教材及び講師が生徒別に作成した教材を用いて学習を進めることもある	・英・数を中心として、国・理・社は定期テスト等に向け希望した生徒に対して個別に対応 ・学習教材は、学年別・教科別に同一のもの基本的に使用している
情報共有	・講師間における情報共有は、教室終了後の事後ミーティングの時間及び教室外でのLINE及び別日を設けてのミーティングを中心に行っている	・基本的な情報共有はLINEによって行われており、次年度の方針や新規講師募集など、教室の運営に関する会議は、別日を設けて行われている

研修での得た大きな収穫

・当教室の方向性に対する確信である。
　新たに4月から始まった“フリスタ”において、模索し修正を重ね、前進し開拓してきた道が“梅の木学習教室” と類似していたことで、確信へと変わることができた。

・生徒に対する姿勢を再認識できた。
　「生徒が何をしたいのか、どこを目標としているのか、それに耳を傾け、それを最大限にサポートすることが大切である」

・両教室を比較することは単純にはできない。
“フリスタ”は習志野市の事業委託であり“梅の木学習教室”は学生が自ら立ち上げ運営していることで対象家庭の環境や生徒の基礎学力等、前提となる条件が大きく異なっているが、教室として参考点はある。

・学習内容について。
　今年度の“フリスタ”において、受験生の学習内容を受験に特化したものではなく、学習習慣の定着を主点とし決定した学習計画を作成した。生徒によっては対応が異るが、その上で受験生としての意識を外的要因（受験に向けた英単語の小テストなど）から励起させることが重要だと考える。

総　　評

　立ち上げメンバーの話を聞くことで、自発的な行動に責任を持ちながら運営することについて、継続的に“梅の木”との関係を持ちながら“フリスタ”の発展につなげて行けばと思います。

平成28年1月12日～2月29日　第12回フードドライブ



寄付いただきたい食品：
■ 穀類（お米、麺類、小麦等）
■ 保存食品（缶詰、瓶詰等）
■ 乾物（のり・豆など）
■ 調味料各種、食用油
■ インスタント食品・レトルト食品
■ 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）
■ギフトパック（お歳暮・お中元等）
■災害備蓄食品　など

注意いただきたい点：
1）賞味期限が明記され、かつ2ヶ月以上あるもの
2）常温で保存が可能なもの
3）未開封であるもの
4）破損で中身が出ていないもの
5）お米は常識の範囲内で古くないもの
＜受け取り窓口のご案内＞
平日9:00～17:00
（それ以外は個別の＊記載をご確認ください）

フードバンクちば

◆習志野市社会福祉協議会＊平日9:00 ～16:30
習志野市秋津3-4-1総合福祉センター内
TEL.047(452)4161

◆らいふあっぷ習志野（習志野市生活相談支援センター）＊平日9:00 ～17:00
習志野市津田沼5-12-12サンロード津田沼ビル6 階
TEL.047(453)2090